■洪水災害とは
Flood damage 什么叫洪水灾害

堤防いっぱいまで水が増えると、土でできた堤防に水の圧力がかかりはじめます。

堤防の崩れた場所をとおって、勢いよく水が流れ出し、家に襲いかかります。

大雨が降ると川の水位があがり、排水されずに下水道などが溢れてしまいます。

堤防から流れ出した水は、場所によっては家を破壊・流出したり、車を浮き上がらせたりしながら広がります。水が浸水してくるとすぐ水かさが高くなり、歩行が困難になります。

その他にも大雨が降ったとき、道路の側溝がつまったり、道路の低くなっているところに水がたまって浸水がおこります。

■市役所から提供される避難情報
Evacuation information from City Hall 市役所提供的避难信息

市の災害広報用拡声器や広報車からの避難情報は主に以下の３種類です。種類に応じた的確な行動を心掛けて下さい。

避難情報の種類	発令の目安	とるべき行動
避難準備（自主的避難）	淀川あるいは寝屋川等に洪水注意報が発令された場合、あるいは当日の日雨量が90～100mmを越えて土砂災害発生の警戒が必要となった時。	いつでも避難できるように、避難の準備をして、市からの防災情報やテレビやラジオの放送に注意しましょう。
避難勧告	淀川あるいは寝屋川等に洪水警報が発令された場合、あるいは土砂災害発生への第2警戒体制がとられるような時。	お近くの避難所に速やかに避難しましょう。
避難指示	洪水や土砂災害により甚大な被害が発生する危険性が高まった時。	お近くの避難所に直ちに避難しましょう。

(注)市では、発令の目安を基準とし、気象・河川に関する情報や住民のみなさんからの情報を考慮して、避難情報をお知らせします。

■土砂災害とは
Landslide damage 什么叫沙土崩塌

土石流とは

集中豪雨等により大量の土砂や礫が瞬時に谷沿いに流れ落ちることを言います。

地すべりとは

地面が地震や大雨等が原因で不安定になり、緩やかに滑り落ちることを言います。

がけ崩れとは

弱くなった斜面が急に崩れ落ちるのをがけ崩れと言います。

■避難の自安（土砂災害）
Evacuation guidelines (Landslide damage)

	前日までの連続雨量	警戒体制をとる場合の基準の雨量：第1警戒体制	第2警戒体制
急傾斜地崩壊危険箇所	100mm以上の場合	当日の日雨量が50mmを越えた時	当日の日雨量が50mmを越え、時間雨量30mm程度の強い雨がふりはじめた時
急傾斜地崩壊危険箇所	100mm～40mmの場合	当日の日雨量が80mmを越えた時	当日の日雨量が80mmを越え、時間雨量30mm程度の強い雨がふりはじめた時
急傾斜地崩壊危険箇所	前雨量がない場合	当日の日雨量が100mmを越えた時	当日の日雨量が100mmを越え、時間雨量30mm程度の強い雨がふりはじめた時
土石流危険渓流		90mm	146mm

(注)ただし、降雪、融雪時ならびに地すべり等発生時は、別途考慮するものとする。

雨の降り方の程度（1時間雨量）

10～20mm
ザーザーと降る雨。地面からの跳ね返りで足元がぬれる程度の雨です。長雨になりそうなら注意が必要です。

20～30mm
どしゃ降りの雨。傘をさしていても濡れてしまうほどの雨です。下水があふれ、小河川なら氾濫、また、がけ崩れの心配もあります。テレビ、ラジオなどで今後の情報に注意し、長引きそうなら避難の心構えを。

30～50mm
バケツをひっくり返したような激しい雨。土石流、がけ崩れ等が起こりやすくなります。道路が川のようになり、交通規制も行われます。避難の準備を。

50～80mm
滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなります。都市部では地下室や地下街に雨水が流れ込む場合があり、マンホールから水が噴出することもあります。土石流等が起こりやすく、多くの災害が発生するおそれがあり、警戒が必要です。

80mm以上
息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じるような雨。雨による大規模な災害が発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要です。

■台風や集中豪雨による被害とは
Damage from typhoons and heavy concentrated rain

台風の強さと予想される被害

日本列島には毎年多数の台風が接近または上陸し、強風と大雨によりたびたび大きな被害が発生しています。台風情報に注意し、災害に備えましょう。

台風の大きさと階級分け

階級	強風域の半径
大型（大きい）	500～800km
超大型（非常に大きい）	800km以上

※強風域：風速15～25m/秒
※暴風域：風速25m/秒以上

台風の強さと予想される被害

階級	風速	予想される被害
強い	33～44m/秒	体を傾けないと倒れる。小石が飛ぶ。
非常に強い	44～54m/秒	倒れる家が多くなる。木が根こそぎ倒れる。
猛烈な	54m/秒以上	鉄塔が曲がる。

集中豪雨

集中豪雨は、狭い地域に短時間に多量の雨が降ることで、梅雨の終わりごろによく起こります。気象の変化によって突発的に降るためにその予報がむずかしい場合があり、中小河川の氾濫や土砂崩れなどによる大きな被害が予想されます。常に気象情報に十分注意し、万全の対策をとるようにしましょう。

■警報・注意報とは
Alarms and warnings

テレビ、ラジオ、新聞などで発表されている気象情報には、警報や注意報等の情報もあります。これらの情報は、雨の降り方を知るための最新情報となります。そこで、これらの警報や注意報がどのような状況になると発令されるのか、また、警報や注意報の発令と実際の雨の降り方との間にどのような関係があるかを理解しましょう。

大阪府内（東部大阪）の警報・注意報発令基準（大阪管区気象台）

警報・注意報の種類		発令基準	
大雨に関する警報・注意報	大雨洪水警報	1時間雨量	40mm（降り始めから総雨量100mm）
		3時間雨量	70mm
		24時間雨量	160mm（大阪市内は130mm）
	大雨洪水注意報	1時間雨量	20mm（降り始めから総雨量50mm）
		3時間雨量	40mm
		24時間雨量	70mm
風に関する警報・注意報	暴風警報		陸上 20m/s 海上 25m/s
	強風注意報		陸上 12m/s 海上 15m/s

■避難、洪水に関する情報
Information about evacuation and floods

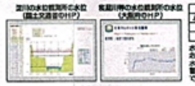
淀川、寝屋川、恩智川には水位の観測所が設置されています。観測された水位は、市役所が避難情報を出すための重要な指標となります。河川の状況を示す「危険水位を超えました」、「警戒水位を超えました」という内容が市の災害広報用拡声器、広報車から聞こえた時やテレビ、ラジオで放送された場合は、特に注意して下さい。

■パソコン・携帯電話から提供される洪水関連情報
Flood-related information from PCs and cellular telephones

各河川の雨量、河川水位は以下のアドレスで情報提供されています。

川の防災情報（国土交通省）	内容	淀川の水位、雨量、ライブ画像、洪水予報を提供
	アドレス(パソコン)	http://www.river.go.jp/
	アドレス(ドコモ)	http://i.river.go.jp/
雨量・河川水位・潮位情報（大阪府河川室）	内容	寝屋川、恩智川の雨量、河川水位を提供
	電話(音声)	06-6882-8141
	アドレス(パソコン)	http://o-dis.pref.osaka.jp/tlm/fum/PAC_TLM_T12.htm
	アドレス(ドコモ)	http://o-dis.pref.osaka.jp/i/kasen
	アドレス(ボーダフォン)	http://o-dis.pref.osaka.jp/v/kasen
	アドレス(au)	http://o-dis.pref.osaka.jp/ez/kasen

淀川の水位観測所の水位（国土交通省のHP）　寝屋川等の水位観測所の水位（大阪府のHP）



河川名	淀川	寝屋川・恩智川		
水位観測所名	枚方	寝屋川(大東福徳)	住道	恩智川(大東福徳)
危険水位	5.30	5.40	5.00	7.60
警戒水位	4.50	4.20	3.90	7.05

水位の単位はメートルです。
危険水位とは、洪水時に、河川からの氾濫などの危険があるときの水位です。
警戒水位とは、水防に備えて警戒にあたるための目安となる水位です。

■平常時（洪水・土砂災害）の心得
Actions to take before flood or landslide damage occurs

洪水や土砂災害時に安全な避難所や避難路を事前に確認しておきましょう。近所の一人暮らしのお年寄りなど助けを必要とする人のことも考えておきましょう。

Confirm in advance safe evacuation routes and sites when floods and landslides occur. Don't forget to help those in the neighborhood who require it, such as elderly people living alone.

非常食や持ち出すもの等を準備しておく

非常食には、調理の手間がかからず、水をあまり使用しないもの（レトルト食品や缶詰）を選びます。また、懐中電灯やラジオ、乾電池も忘れずに用意しておきましょう。

避難場所や避難路を確認しておく

この地図には、洪水時に避難する場所が示されています。自分の地区の避難場所はどこなのか、そこへ安全に行くためにはどう行けばいいのかを確認しておきましょう。

一人暮らしのお年寄りなどには気配りを

自分の家族や住まいだけでなく、地域全体にも目を向けましょう。特に、一人暮らしのお年寄りや病気の人たちには、ふだんからの気配りが必要です。

■避難時（洪水・土砂災害）の心得
Actions to take when evacuating from flood and landslide damage

テレビ・ラジオや自治体からの気象・災害・避難に関する情報に注意し、自主的に早めに避難しましょう。万一逃げ遅れた場合には、近所の３階以上の建物に避難しましょう。

Listen carefully to announcements from the radio, television, or local authorities regarding weather, damage, and evacuation, and promptly evacuate on your own. If you are delayed, evacuate to buildings in the neighborhood three or more stories high.

正確な情報収集と自主的避難を

テレビ・ラジオで最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意しましょう。雨の降り方や浸水の状況に注意し、危険を感じたら自主的に避難しましょう。

車での避難は控えて

車での避難は緊急車両の通行の妨げになります。また、交通渋滞をまねき、浸水すると動けなくなりますので、特別な場合を除き徒歩で避難しましょう。

万が一、逃げ遅れたときには

万が一、避難が遅れ、危険が迫ったときには、近くの丈夫な建物の３階以上に逃げましょう。

■避難要援護者への協力
Help people who require evacuation assistance

目の不自由な人
「お手伝いしましょうか」等と、まず声をかける。話しかける相手の声が頼りなのだから、話すときは、はっきりゆっくり、大きな声で。誘導するときは、杖を持っていない方の腕の、肘のあたりを軽く握れるか、肩をかして、半歩前くらいをゆっくり歩く。

耳の不自由な人
話すときは、近くまで寄って相手にまっすぐ顔を向け、口を大きくはっきり動かす。口話で分からないようであれば、紙とペンで筆談する。紙やペンがなければ、相手の手のひらに指先で字を書いて筆談する。

高齢者・病人
複数の人で対応する。急を要するときは、ひも等を使って背負い、安全な場所へ避難する。

肢体の不自由な人
それぞれの人に適した誘導方法を確認する。車椅子の場合は、階段では必ず３人で協力し、上がるときは前向きに、下がるときは後ろ向きにして、恐怖感を与えないように配慮する。

■非常時持ち出し品
Items to take during emergencies

■防災関係機関電話番号
Telephone numbers of organizations providing disaster assistance

災害対策(警戒)本部	市役所	872-2181
北部地区対策部	北条人権文化センター	877-6066
東部地区対策部	野崎人権文化センター	879-1551
南部地区対策部	総合福祉センター	872-2222
西部地区対策部	諸福老人福祉センター	871-2771

■救急病院電話番号
Telephone numbers of emergency hospitals

仁泉会病院	875-0100
大東中央病院	870-0200
市立保健医療福祉センター	873-8888
わかくさ竜間リハビリテーション病院	869-0116
野崎徳洲会病院	874-1641
阪奈病院	874-1111

■安否確認の方法
Safety confirmation methods

NTT(災害用伝言ダイヤル)では、被災地への電話がつながらない場合、家族・親せき等の安否が伝言により確認できます。

■伝言登録　171+1、に続けて[自宅の電話番号を市外局番から押す]
たとえば「××です。家族全員無事。△△避難所にいます。」(30秒以内で伝言する)

■伝言の再生　171+2、に続けて[相手の電話番号を市外局番から押す]

■利用できる電話　一般電話、公衆電話、携帯電話、PHS
※一部の携帯電話、PHSからは利用できない場合があります。くわしくはNTTまで。

■わが家の防災メモ
Disaster-related memos for the home

	地震時	土砂災害・洪水時
我が家の避難場所		
家族の集合場所		
災害時の緊急連絡先		

家族の名前	生年月日	血液型	会社・学校の電話番号

お問い合わせ先　大東市役所　市民生活部　生活安全課　電話　代表 072-872-2181